

## 平成 31 年度継続課題に係る継続評価書

研究機関 : パナソニック (株)、日本電信電話 (株)、(国研) 情報通信研究機構、パナソニックソリューションテクノロジー (株)、(株) KDD I 総合研究所、(株) みらい翻訳

研究開発課題 : グローバルコミュニケーション計画の推進 - 多言語音声翻訳技術の研究開発及び社会実証- I. 多言語音声翻訳技術の研究開発

研究開発期間 : 平成 27 ~ 31 年度

代表研究責任者 : 三村 義祐

■ 総合評価 : 適(適/条件付き適/不適の3段階評価)

(評価点 18 点 / 25 点中)

(総論)

実用化に向けての検討・準備がよくなされている。今後、開発した技術が効果的に応用できる分野の考察を望む。

(コメント)

- 実用化に向けての検討・準備がよくなされている。
- 今後、開発した技術が効果的に応用できる分野の考察を望む。  
例) 在留外国人への自治体からの情報提供等、歯科医への応用等
- 各要素技術の達成は図られており十分評価できる。今後の展開に役立つ資料を提供するためにも、適用が難しい分野に対して全体把握ができるような分析を試みて欲しい。
- ビジネス化は大変かもしれないが是非うまく軌道にのせて欲しい。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況及びアウトカム  
目標の達成に向けた取組みの実施状況

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

当初目標はほぼ達成しており、加えて災害対応についても検討しており十分評価できる。

(コメント)

- プロジェクトの当初目標はほぼ達成している。
- 数値目標は達成しているものの利用者満足度が上がらない課題に対しても対処法がよく検討されている。
- 目標は達成しており、災害対応についても検討している。
- 各要素技術の達成は図られており、十分評価できる。
- 最終目標到達可能性も見込める現状からすると個々の記述だけに留まらず、全体の課題把握に向けたまとめを期待したい。
- 研究開発については当初の数値目標が達成されている。
- 社会実証についても5分野でバランスよく展開されている。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(5～1の5段階評価) : 評価3(評価点)

(総論)

ほぼ計画通り使用しており、概ね妥当。

(コメント)

- 実証実験実施に伴う小修正を除きほぼ計画通り使用している。
- 特に問題はない。
- 研究資金使用状況は妥当である。
- やや研究資金使用予定額がオーバーしているものの概ね妥当である。

### (3) 研究開発実施計画及びアウトカム目標の達成に向けた取組み

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

#### (総論)

プラットフォームサービスを提供する会社が立ち上がるなど実用化に向けた取組が進んでいる。最終年度に向けて社会実証に注力する計画は妥当であり、UIを意識しながら社会実証の結果を分析し、次につながる研究・開発の種の発見に期待したい。

#### (コメント)

- プラットフォームサービスを提供する会社が立ち上がるなど実用化に向けた取組が進んでいる。
- 目標は達成しているため、技術の効果の程度のわかりやすい提示を望む。
- 5分野横断実証など、技術のUIから眺めた規準作りに貢献できるような分析検討を是非お願いしたい。
- 最終年度に向けて社会実証に注力する計画は妥当である。社会実証の結果を分析し、次につながる研究・開発の発見に期待したい。

### (4) 予算計画

(5～1の5段階評価) : 評価3(評価点)

#### (総論)

社会実証を中心に予算を充当することは妥当であり、最終年度に向けてプラットフォーム構築への重点配分などの配慮がなされている。

#### (コメント)

- 最終年度に向けてプラットフォーム構築への重点配分などの配慮がなされている。
- 特に問題はない。
- 計画は妥当である。
- 社会実証を中心に予算を充当することは妥当である。

## (5) 実施体制

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

### (総論)

プラットフォームサービス提供会社設立に向けて受託企業間の提携がよく取れており、最終年度も可能な限り多様なユーザを巻き込んだ社会実証を期待したい。

### (コメント)

- プラットフォームサービス提供会社設立に向けて受託企業間の提携がよく取れている。
- 特に問題はない。
- 体制は妥当である。
- それぞれの課題に対してすごく丁寧に取り組んでおり、最終年度も可能な限り多様なユーザを巻き込んだ社会実証を期待したい。